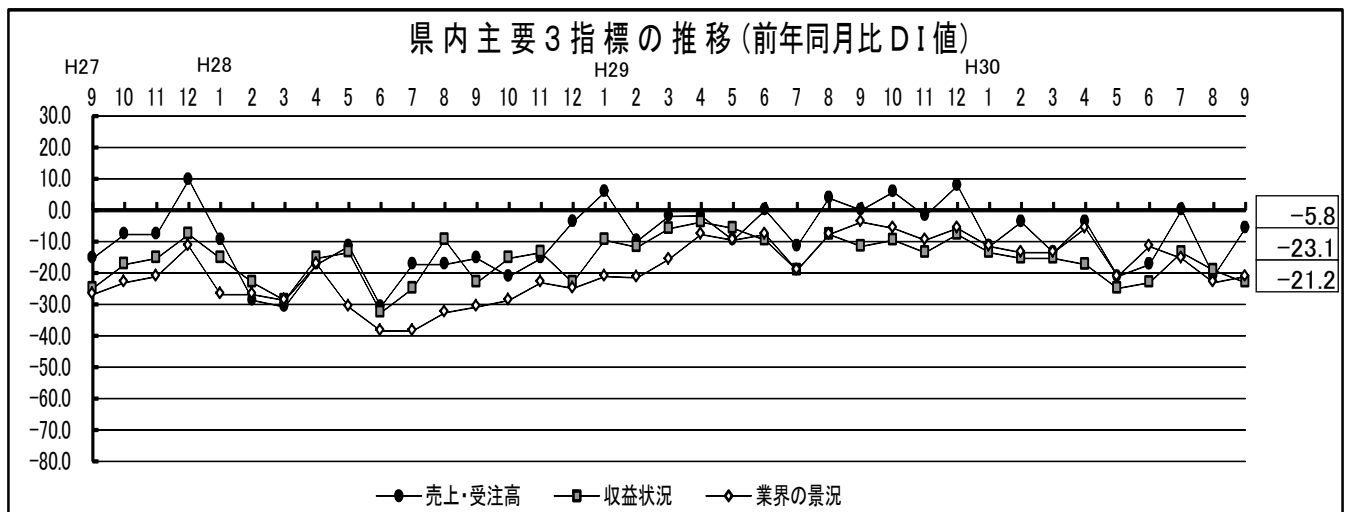


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成30年9月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役員職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 9月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「雇用人員」「業界の景況」の4指標が上昇し、「販売価格」「収益状況」の2指標が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より15.4ポイント上昇し-5.8ポイント、「収益状況」が前月より3.9ポイント下降し-23.1ポイント、「業界の景況」が前月より1.9ポイント上昇し-21.2ポイントであった。
- 数値のみに目を向けると、栃木県内では「売上高」や「景況」が若干持ち直し、指標全体でも、それほど大きな落ち込みは見受けられなかった。しかし、各業界とも台風等による天候不順の影響は多少なりとも受けていることが報告からは伺えた。また、多くの企業で、原材料費・人件費・燃料費等の経営コストが引き続き上昇し、人手不足も慢性化していることから、先行きは今後とも注視していく必要がある。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-5.8	+15.4	-17.2	-4.6
収益状況	-23.1	-3.9	-25.1	-4.5
業界の景況	-21.2	+1.9	-21.4	-3.4

売上・受注高

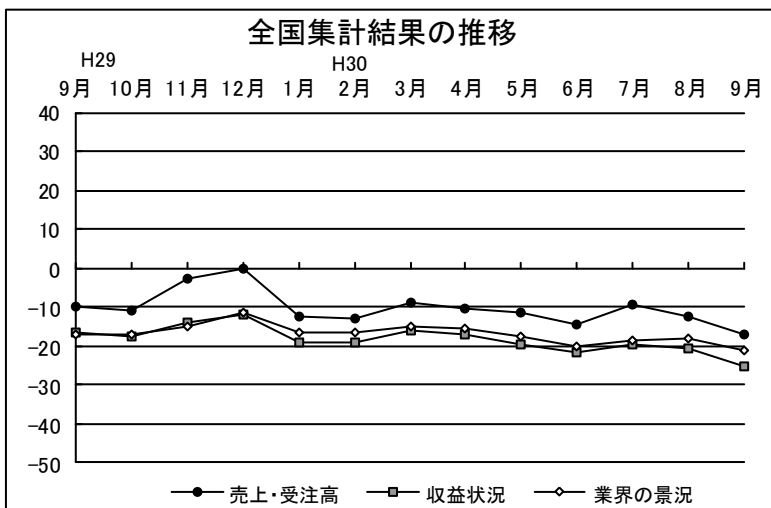
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より15.4ポイント上昇し-5.8ポイントとなった。全国においては、前月より4.6ポイント下降し-17.2ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より3.9ポイント下降し-23.1ポイントとなった。全国においては、前月より4.5ポイント下降し-25.1ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より1.9ポイント上昇し-21.2ポイントとなった。全国においては、前月より3.4ポイント下降し-21.4ポイントとなった。



-概況-

9月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「雇用人員」「業界の景況」の4指標が上昇し、「販売価格」「収益状況」の2指標が下降した。

主要3指標は、「売上高」が前月より15.4ポイント上昇し-5.8ポイント、「収益状況」が前月より3.9ポイント下降し-23.1ポイント、「業界の景況」が前月より1.9ポイント上昇し-21.2ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中4業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で6業種中4業種が上昇、1業種が低下した。「収益状況」は製造業で7業種中3業種が低下し、非製造業で6業種中3業種が上昇、1業種が低下した。「業界の景況」は製造業で7業種中1業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で6業種中2業種が上昇した。

数値のみに目を向けると、栃木県内では「売上高」や「景況」が若干持ち直し、指標全体でも、それほど大きな落ち込みは見受けられなかった。しかし、各業界とも台風等による天候不順の影響は多少なりとも受けていることが報告からは伺えた。また、多くの企業で、原材料費・人件費・燃料費等の経営コストが引き続き上昇し、人手不足も慢性化していることから、先行きは今後とも注視していく必要がある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	×	△	△	△	×
繊維・同製品	×	△	△	△	×	△	△	△	×
木材・木製品	○	△	△	△	△	△	△	△	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	○	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	○	—	△	△	○	△	—	△	△
その他	×	—	△	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	-75.0	-25.0	-25.0	0.0	-75.0
繊維・同製品	-50.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0
木材・木製品	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	-25.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	25.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0
製造業	-8.0	0.0	0.0	-4.0	-32.0	-12.0	-12.0	-4.0	-28.0
卸売業	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-28.6	-28.6	28.6	-14.3	-42.9	-28.6		0.0	-42.9
サービス業	-16.7		0.0	0.0	-33.3	-16.7		16.7	-16.7
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	50.0		0.0	0.0	50.0	0.0		25.0	25.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-3.7	-10.0	7.4	-3.7	-14.8	-11.1		7.4	-14.8
全体	-5.8	-2.9	3.8	-3.8	-23.1	-11.5	-12.0	1.9	-21.2

図表3～【指標別DI値の推移】

	29年 9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前月 比
売上高	0.0	5.8	-1.9	7.7	-11.5	-3.8	-13.5	-3.8	-21.2	-17.3	0.0	-21.2	-5.8	15.4
在庫数量	-17.1	0.0	-17.1	-2.9	-28.6	-20.0	-14.3	-14.3	-14.3	-11.4	-2.9	-11.4	-2.9	8.5
販売価格	1.9	1.9	-1.9	3.8	1.9	7.7	5.8	3.8	9.6	11.5	11.5	7.7	3.8	-3.9
取引条件	-1.9	-5.8	-5.8	-3.8	-3.8	-1.9	-3.8	-3.8	-5.8	-3.8	-3.8	-3.8	-3.8	0.0
収益状況	-11.5	-9.6	-13.5	-7.7	-13.5	-15.4	-15.4	-17.3	-25.0	-23.1	-13.5	-19.2	-23.1	-3.9
資金繰り	-5.8	-7.7	-7.7	-7.7	-11.5	-9.6	-9.6	-9.6	-15.4	-9.6	-5.8	-11.5	-11.5	0.0
設備操業度	-12.0	8.0	20.0	8.0	-16.0	8.0	-4.0	-8.0	-12.0	-12.0	-4.0	-12.0	-12.0	0.0
雇用人員	5.8	0.0	1.9	0.0	3.8	0.0	-5.8	1.9	0.0	-1.9	-5.8	-7.7	1.9	9.6
業界の景況	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-11.5	-13.5	-13.5	-5.8	-21.2	-11.5	-15.4	-23.1	-21.2	1.9

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	50.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-100.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
木材・木製品	75.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	75.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-50.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
一般機器	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	25.0
製造業	4.0	12.0	-12.0	-4.0	-16.0	-8.0	0.0	12.0	-4.0
卸売業	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	57.1	-14.3	0.0	0.0	14.2	14.3		0.0	14.2
サービス業	33.3		16.7	16.7	16.7	16.7		16.7	16.7
建設業	0.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	25.0	0.0		25.0	0.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	25.9		0.0	3.7	3.7	7.4		7.4	7.4
全体	15.4	8.5	-3.9	0.0	-3.9	0.0	0.0	9.6	1.9

特記事項

情報連絡員報告（平成30年9月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	天候が不順で店頭への来店が減少している。
酒類製造業	特定名称酒の売上は前年同期と比べ大差は無いが、普通酒の売上が大幅に減少しているため、大きな打撃となっている。これから日本酒の季節になると思うので、期待されるところである。
縫製業	1回目の秋物生産は順調でしたが、残暑と台風によって店頭の売行が今年の50～60%なので、例年であれば2回目の秋物生産が追加+新規デザインの注文があるが、今年はない。16、17日の連休から少し上向きになったが、生産に結びつく様な物はなく厳しい生産状況である。
染色整理業	和装関係が不況である。
綱・網・レース・繊維粗製品製造業	トーション業界も本格的なシーズンに入った。動き出しの早い高級ブランドからの引き合いは相変わらず鈍い。来春夏に向けての動きの中で昨年と対比すると好調に推移している取引先も多いように思える。組合員各社、海外向けのオーダーを狙っていく中で、多品種小ロットが増えており、やり練りが大変である。
一般製材業	前年同月の状況が良くなかったため、今年の9月は良い数字に見えるが、全体としては先が見えない。8月～10月の状況はまあまあのところであるが、中期的な展望が難しい。
建具製造業	このところ最大手事業者（上場企業）が採算無視の安値販売を繰り返しており、業界の問題となっている。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。
石灰製造業	8月同様、肥料向けが若干増加傾向となっているが、鉄鋼は前年並み、建材関係も昨年並みで推移しているため、石灰関係全般では前年並みとなった。
陶磁器製造業	今年度の秋の陶器市は、11/2～11/5に開催します。
めっき業	原材料、エネルギーコストの上昇により、収益が悪化している。
金属製品製造業	売上高増加は季節要因（エアコン）の増加によるもの。
金属製品製造業	自動車部品関連、機械設備関連、工作機械関連、プレス金型関連、半導体関連いずれも横這いであった。
一般機械器具製造業	30年9月の報告は前年同月と比較し受注量が増加傾向にあり、僅かであるが売上増となっている。一方で、仕入単価は上昇傾向が継続しており、懸念材料となっている。なお、相変わらず人手不足が継続中、増産対応が厳しいという報告もある。
一般機械器具製造業	マスコミ報道とかなり乖離があるように思われる。景況感がないのに人件費を上昇させていく政治姿勢では益々気分的にも下降するばかりで困ったものである。
各種商品卸売業	団地内企業は、前年同期と比べ燃料高騰のマイナス材料はあるものの、概ね不変、又はやや増加・好転とする企業が増えている。
食肉小売業	9月に入り気温が下がり、2回の連休で行楽客が多かったが、商品の売れ行きは悪く、仕入の相場も下がった。
中古自動車小売業	実質中古車の不足で価格が例年より下落していない。仕入が厳しくなっており、利益率も下降ぎみ。軽自動車も含め高年式が輸出業者と競合し、輸出環境の変化で価格が乱高下し、仕入値付も惑わされる。

各種商品小売業	天候の関係もあり、8月に続き大変厳しい9月であった。
各種商品小売業	施設全体としては、売場の改装セールのおかげで客数増となったが、専門店ゾーンに関しては特別恩恵を受けるには至らなかった。また、近隣競合施設においても大規模な改装1周年祭が実施されたものの、大幅に落とすことは無かったが、内外競合に挟まれ厳しい結果となった。
花・植木小売業	敬老の日を絡めた連休とお彼岸を挟んだ3連休とで婚礼需要も重なり、業界的には繁忙期となった。連休中は天候にも恵まれ小売りも良好な動きであったが、夏場の猛暑や台風などの影響もあり、数量は前年に比べて2割程度少なく、菊類では大菊、小菊が高騰し、洋花系ではバラ、トルコギキョウ、アルストロメリア、ユリなどの引き合いが強く、商品によっては昨年比で5~8割程度の大幅な単価高となり、対応に苦慮した。
理容業	今月は新規組合加入者があった。新規に店舗を開業した方であるが、今後も組合加入のメリットを伝え、加入者の増加を期待したい。
自動車整備業	法人リース車両の入庫台数増により売上高が若干であるが増加した。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇していたが、2018年になってからの7ヶ月間に関し少し停滞感がある。8月お盆明けから9月は非常に低調であった。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。飲食店利用に関しては、7月からの猛暑は一段落したが、台風が毎週発生している状況で伸び悩んでいる。
ビルメンテナンス業	福祉用具レンタル事業部門の単価が下がり、収益性が大きく低下している。関連の高齢者福祉事業も業績が悪化している。
給食センター	売上高は、昨年あったスポットの売上がない為、減少となった。現状、米や野菜等の食材の値上げによりコストアップとなり、厳しい状況ではあるが、新規の得意先の開拓・新商品の開発・コストダウンにより、収益を改善したい。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは43%減、敷物用ラベルは29%減、壁装用ラベルは25%減であった。ラベルの支給(売上)金額では前年同期4月~9月累計では69%減であった。 ※平成30年4月~9月の内訳は、カーテン43%減・敷物29%減・壁装用25%減、いずれも減少であった。 ※県内の着工戸数は、14市中9市で前年比マイナスであった。
一般貨物自動車運送業	輸送繁忙期とは言えない時期であるが、特に求車情報が増加しており、深刻化する運転手不足の対応など運行車両が減少していることが大きな要因と思われる。燃料価格も上昇しており厳しい環境である。
貨物軽自動車運送業	決算期のお客様などから受注が増加し、配車依頼に対応できない日も数日あり、ドライバー不足を感じる日々。事務員を2名採用し、業務強化を図った。新規組合員も5名入り、軽運送業に期待を持っている方達もかなりいることを実感できる。
一般乗用旅客自動車運送業	天候不順及び特定地域事業計画等の影響で1台当たりの營收が多少伸びている。また、週末、特に繁華街の人通りが増えている。
大谷石採石業	前年比では2~10%程減少したとのことであったが、前年度がいつもよりも忙しかったため、結果的に例年並みであった。